

センター月だより

〒 507 0034 多治見市豊岡町 55 まなびパークたじみ 4F ☎ 23-3455 FAX 26-881E

指導日誌より

= 多治見地区 =

子どもたちが少なく静かな日であった。小泉駅と小泉公園にいた高校生がきちんとあいさつを返してくれた。(7/8 小泉 5)

高田神社のお祭りにきている小学生に声かけ、いろいろ話してくれた。路上でキックボードに乗っている小学生に注意すると、すなおにやめた。(7/12 共栄 3)

川北津島神社の祇園祭りで多くの小 中 高生に声かけ。元気な声が返ってきた。(7/12 昭和 4)

根本交流センターでは帰宅する児童や、空手新体操などの教室に通う児童多数に声かけ。あいさつがしっかりできる子どもたちと、あまりしない大人たちが対照的でした。(7/17 根本 10)

巡回途中で雷雨。交番や児童館で子どもたちの様子を聞いた。雨が上がった後、下校する中学生に声かけ。元気なあいさつが返ってきた。(7/17 脇之島 12)

小学 4~5 年の男子 6 人が路上でキックボードをして遊んでいたの、公園で遊ぶように注意した。(7/18 滝呂 8)

区の夏祭り会場で多くの子どもたちや祭りのスタッフなど大勢の人とあいさつ、声かけが出来た。時々雷雨もあったが、無事終わりホッとした。

(7/20 南姫 9)

多治見市で 39.3 を記録した日。公民館でミーティングをした後、巡回に出た。セガには高校生の姿が見られたが、ピアゴ内では子どもたちが元気よくあいさつを返してくれた。(7/25 池田 6)

部活帰りの中学生に声をかけてはげました。多治見はこの日も暑く、外にいる子は少なかった。(7/26 北栄 1)

= 瑞浪地区 =

川端公園下の川辺で 3 人の女子高生に会い、早く帰るように声かけした。(7/1 瑞浪 B)

ゲンキーの裏にたばこの空箱あり。成人が吸う場所とは考えられないので、青少年の喫煙か？(7/4 稲津 F)

雨天のためか子どもたちに出会えなかった。各地区の公園の垣根が高く歩道から内側が見えにくい場所がある。和合公園、西洞公園は特にこわい。(7/5 明世 H)

20 時頃、土岐川堤防で男女の高校生が話をしていた。女子は制服でカバンを持っていた。迎えを待っていると言い訳をしていたが、明るい場所に移動するように話すと、素直に駅の方に歩いて行った。(7/17 日吉 I)

7 月 声かけ活動の結果

	多治見地区	瑞浪地区	土岐地区	合計
指導人数	9	0	2	11
声かけ人数	478	101	153	732
指導員参加者	68	34	48	150

大川祇園祭りの中を巡回。大勢の子どもたちが盆踊りに参加してにぎやかでした。特に問題のあるようなことは無かった。(7/19 陶E)

駅前で帰宅する生徒に声かけ。きちんとあいさつを返してくれる。バロー裏 19号地下通路の電灯切れ。雰囲気が悪い。(7/21 土岐D)

= 土岐地区 =

泉が丘県営住宅内の公園で、野球をする中学生や自転車に乗ってきた中学生、ブランコで遊ぶ小学生がいた。狭い公園だから気を付けて遊ぶようにと声かけした。(7/2 泉9)

駅前で女子高校生3人に声かけしようとする、先にあいさつしてくれた。(7/2 特A)

雨のため、子どもたちの帰りが早かったので、巡回時、子どもたちは少なかった。(7/3 駄知6)

三起屋バロー 3階のゲームコーナーで保護者がいない小学生2人がいたので、「家の人と来なければいけない」と話す。両替えだけして店から出た。(7/8 土岐津)

台風接近で急に降り出した雨で、子どもの姿も少なく中学生も急いで帰宅していた。(7/9 下石3)

下校する生徒たちに「さようなら、気をつけて

ね。」などと声をかけた。とても気持ちよく返してくれる子が多かった。(7/16 鶴里4)

駅のトイレ前に、2人の少年がすわってタバコを吸っていた。声かけすると、立ち去って行った。(7/17 肥田7)

40 近くもある大変暑い日だったためか、子どもたちの姿はあまり見られなかった。汗だくで帰宅する高校生たちに声かけをして回った。(7/25 下石2)

若人たちの夏

「勝つことで得たものと 敗れることで得たものと 秤(はかり)にかけて重さを比べれば やがて同じ目盛になる」

- 作詞家 阿久悠さんの詩集より -

今年も甲子園では、暑い夏の、熱い戦いが繰り広げられています。力を振りしぼって戦った球児たちの数だけ、たくさんのドラマが出来るのでしょうか。結果に関わらず、それぞれが何かを得てくれるといいですね。

センターから

7月の指導日誌で瑞浪地区H班(日吉)の小栗さんからお知らせ頂いたことを紹介します。『日吉地区は6月に毛虫の大発生があった。朝、あいさつ運動で学校へ行くと、中学生たちが一生懸命毛虫取りをしていた。私もお手伝いのため20日間くらい通ったが、中学生たちは、小学生も含めみんなが気持ちよく勉強できるようにと、進んで活動しているのに感心しました。学校の指導の成果だと思います。』

多治見地区14班の横山さんは、折りを見て、陶彩の径(みち)で通学する子どもたちに声をかけてみます。特に高校生の自転車の乗り方が気になるとのことでした。

他の指導員さんも各班の声かけ活動以外で、子どもたちに声をかけたり、一緒に活動されたりすることがあると思います。そんな時は是非、黄色のベストを活用してください。身分証明にもなりますよ。

3 地区 合同 研修会

日時 平成26年9月27日(土) 9:45~12:00

受付 (ホール前ロビー) 9:30

会場 土岐市「セラトピア土岐」2F多目的小ホール

講演 「若者の心に届く声かけ活動」 講師 岐阜県精神保健福祉協会 西山史子先生
子ども・若者に積極的に関わってこられた先生です。PTAの方は子育ての参考にもなりますよ。

必ず出席して下さいね!

お詫び 「センターだより No.50」で紹介した所長表彰受賞者の古田 真様は、正しくは古川 真様でした。訂正してお詫びします。